

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床発達心理学			必修 (心) 選択 (社精)	2	2.3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾		B305	atakiguchi		木曜 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p>&lt;目的&gt;発達心理学で学んだ内容を基礎として、人が出生してから人生の最期を迎えるまでの生涯発達の経緯の中で直面するさまざまな発達の障害や課題、心理的問題を理解し、具体的な支援について知識を深めることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;各発達段階でみられる心理的葛藤や心理的問題及び臨床心理学的な援助の方法を理解するため、ワークを用いて体験的に学ぶ。</p>				
学習上の助言		授業内容に関する質問は、授業中およびオフィスアワーの時間に受けつけている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書		教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書		よくわかる臨床発達心理学〔第4版〕/編:麻生武、浜田寿美男/ミネルヴァ書房				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	人と人がかかわりの中で生きていることを理解し、その上でさまざまな課題について説明できる。				HSU(1), 心 (2)	
②	各発達段階に特有な身体的・心理的な特徴や問題を理解し、説明できる。				心 (2)	
③	各発達段階に特有の問題について支援方法を理解し、説明できる。				心 (2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	臨床発達心理学とはどのような学問かについて学ぶ。	同時双方向型授業	臨床発達心理学の学問的意義について整理し Teams で提出する	2		
2	幼児期にみられる心理的問題とその対応について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
3	児童期にみられる心理的問題とその対応について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
4	思春期にみられる心理的問題とその対応について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
5	中年期にみられる危機とその対応について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
6	高齢期にみられる危機とその対応について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
7	発達段階にみられる心理的問題、危機とその対応についてまとめる。	同時双方向型授業	配布プリントで#2~6の内容をまとめ Teams で提出する。	11		
8	心理教育について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
9	神経発達症群について学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
10	知的能力障害群の理解と支援の基本を学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
11	自閉スペクトラム症 (ASD) の理解と支援の基本を学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
12	注意欠如・多動症 (ADHD) の理解と支援の基本を学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
13	限局性学習症 (SLD) の理解と支援の基本を学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
14	運動症群・他の神経発達症群の理解と支援の基本を学ぶ。	同時双方向型授業	授業で学んだことを整理し Teams で提出する。	3		
15	これまでのまとめと総括を行う。	同時双方向型授業	これまでの授業内容を復習、整理し Teams で提出する。	11		
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	10	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。				提出されたレポートは全体の総評を行いコメントをつけて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりに小レポートの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらう。				次回の授業の初めに、前回の小レポートのコメントについて解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						

備 考

\*Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。

\*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。

**教員の実務経験：** 臨床心理士として 19 年の心理相談業務の経験を有する。

**実践的授業の内容：** 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。